

—2025年の振り返りを

き上げを行つことで、技能者の給与水準が変わらないようにも配慮

している。ここを到達点とせず、Gなど約5500人を集めて祝賀会を開催した。また、1年前から

残業時間の適正化や休暇取得の徹底を図り、4月から完全週休2日をスタートした。制度開始後、代休や振休を含めた休日取得率は97%

に達し、9月には100%を達成した。協力会社へ労務単価の引

き上げを行つことで、技能者の給与水準が変わらないようにも配慮

している。現場社員の意識改革も進み、収益を押し上げている。今期から始ま

った新中期経営計画の3年間は飛躍の年と位置付け、売り上げも利益も両方伸ばしていく転換期とし

全閉所を目指したい」

—業績面は、「売上高は減少したが、事業の質を高めることで利益を下げず、工事・製品ともに目標を達成で

きている。工事の受注時規律や製品の利幅管理を徹底するとと

ても、人件費や運搬費の上昇分を顧客に説明し、値上げも実施した

「工事と製品で利益を確保していくことに加え、第3の柱の確立が必須だ。道路の包括管理などの

協議は未着手だが、互いの強み・弱みを補完しながら、舗装事業の総合力を高めてシェア拡大を狙いたい」

「成長をどう実現する

「目標達成のためにはM&A（企業の合併・買収）も視野に入

れている。インフロニアグループとしてだけではなく事業会社としても検討が必要だ。異なる事業領域との連携も視野に入れ、会社の広がりをつくりたい」

いまいづみ やすひこ
前田道路 今泉 保彦 社長

10年先を見据え人に投資



「前中期経営計画では経営方針を従前の売上主義から利益を生み出す考え方へ切り替えていた。單なる利益追求ではなく、顧客の信頼をベースに質の高い仕事を提供

取り組みは粘り強く続ける。PP（Pは全案件にチャレンジし、ノウハウを蓄積して将来につなげた）

直木賞作家の山本一力の大ファン。深川駕籠シリーズの『グリ粥』など江戸人情を描いた作品がお気に入り。今年の一字は成長や目標達成の意味を込めて「成」を選んだ。

